

2011 年 11 月 27 日

調査報告書

- 1 とき：2011 年 11 月 27 日
- 2 行先：伊勢湾水理環境実験センター・千種文化小劇場
- 3 参加者：山口清明、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容

伊勢湾水理環境実験センター(国交省 名古屋港湾空港技術調査事務所)

- ・ 伊勢湾環境水槽、長水路水槽の実験施設の実演と説明を受けた。
- ・ 伊勢湾環境水槽では埋め立てによる海岸線の変化や防波堤などの設置でどのような変化や影響を与えるか調査でき、セントレアを設計する時もこの研究が役立った。
- ・ 長水路水槽はいろいろな波をつくり、海底地形や波の高さ等の現地条件によって変化する越波流量の把握、消波被覆ブロック安定実験などを行う。
- ・ 伊勢湾・三河湾は湾口が狭いわりに奥行きが深く汚れがたまりやすいので青潮や赤潮が発生しやすいが、浄化・環境再生の研究を進めている。
- ・ 砂浜の浸食による被害はヘドロ層の上に盛り土で復元させたが、この時も浸食現象再現調査をした。
- ・ 愛知の干潟は埋め立てられてしまい環境も変化している。
- ・ 津波に強い堤防づくりも課題だ。
- ・ 今後更に研究調査をすすめ海の環境をまもるのがセンターの役割だが、これ以上環境破壊しないことが 1 番大切だ。

千種文化小劇場

- ・ ツタの絡まる外見は雰囲気がある。
- ・ すり鉢状の舞台は距離も近く見やすいので劇団からの人気も高いらしい。
- ・ このような個性的・文化的な施設をもっと増やして名古屋を芸術の街にしてほしい。